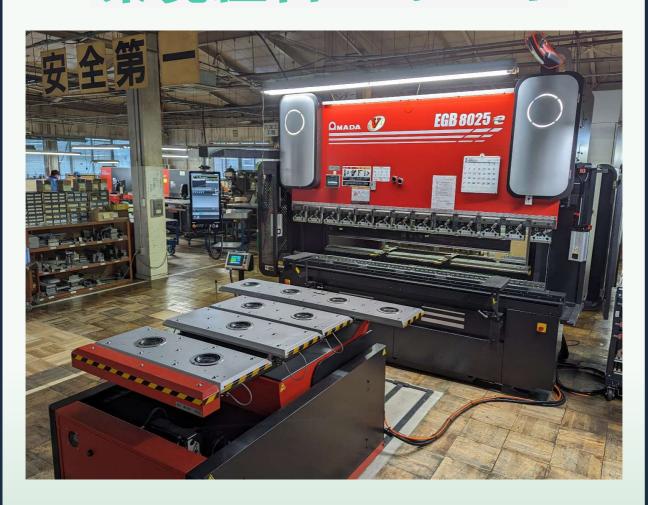
ENVIRONMENTAL MANAGEMENT REPORT

環境経営レポート



野村産業株式会社

【対象期間 2023年05月~2024年04月】 【発行日 2024年06月26日 】



目次

・組織の概要	P3~P4
• 対象範囲	P3
・環境方針	P5
• 環境経営目標	P5
• 実施体制	P6
• 活動計画	P7
・環境活動計画の取組結果とその評価	P7~P12
・環境目標の実績と次年度の取り組み	P10
・次年度の環境経営目標	P12
・環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P13
・ 代表者による全体の評価と目直しの結果	D1/I

野村産業株式会社岩手工場会社概要

**	_i_ rén					
項目	内容 					
事業所名	野村産業株式会社 岩手工場					
所在地	本社 〒183-046東京都府中市西原町1-13-3 府中工場					
	岩手工場	手工場 〒029-4204 岩手県奥州市前沢字本杉128				
	(倉庫)	前沢字長檀58				
代表者	執行役員工場	長 齋藤 淳				
創業	昭和11年3月					
資本金	2,000万円					
社員数	53名					
環境管理責任者 及び連絡先	管理責任者 生産管理課 主任 石川 郁雄					
汉 (三) (三) (三)	TEL	0197-56-3107				
	FAX	0197-56-2619				
事業内容	精密板金加工、試作、金型製作、機械加工					
車両保有台数	10 t トラック: 1台					
	4 t トラック: 1台					
	営業車:2台					
	フォークリフト: 2台					
認証登録範囲	岩手工場 全事業活動					
売上げ	約7.2億円 (岩手工場)					

主要設備

シャーリング1200/2000mmパンチ・レーザー複合機1250×2500mmレーザー加工機4kw 1524×3048mm	2 2
	2
レーザー加工機 4kw 1524×3048mm	
	1
CAD/CAM等 -	8
3 Dバリ取り機(乾式) サイト*×1000mm	1
バリ取り機 (湿式) サイト*×600mm	1
プレス 300t~60t	7
セットプレス 35t~30t	3
レベラーフィード 3.2t×420mm	1
レベラー 3.2t×600mm	1
N C プレスブレーキ(ベンダー) 170t~60t	8
追従機 2000mm	1
N C タッピング 900x1800mm	2
テーブルスポット溶接機 80KVA	2
スポット溶接機 50KVA~8KVA	1 0
Yagレーザー溶接ロボット 6KW	1
Yagレーザー溶接機 19kva	1
アルゴン溶接機 14.5KVA	5
半自動(CO2)溶接機 7.6KVA	4
スタッド溶接機 – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	3
NCスタッド溶接機	1
多軸タップ 22軸500x200mm	2
卓上タップ M2~M8	7
かしめ機 0.75KW	1
ワイヤーカット放電加工機 350x500mm	2
平面自動研削盤 500x900mm	1
マシニングセンター テーブル2300mmと#40	2
汎用旋盤	2
汎用フライス盤 縦型、横型	4
ラジアルボール盤 1000mm	1
卓上ボール盤 ~φ13	5
带鋸盤 250x250mm	1
レーザー Q C 測定器 0.05mm	1
コンプレッサー ~22kw	4

2023年度 岩手工場環境経営方針

- 1.野村産業株式会社 岩手工場は、板金加工による金属製品の提供を通じ、社会に貢献する事を目指します。
- 2.電気使用量、廃棄物の削減等を通じて、岩手工場の事業活動よって生じる 環境負荷を低減していきます。また、これらの活動を通じて、お客様が安 心して当社との取引を行える事を目指します。
- 3.エコアクション21の運用により、環境経営の継続的な改善を行います。
- 4.製品含有化学物質管理等、事業活動に関わる環境関連法規等を遵守します。

制定 2007年7月1日 改定 2023年5月1日

野村産業株式会社 岩手工場 執行役員工場長 齋藤 淳

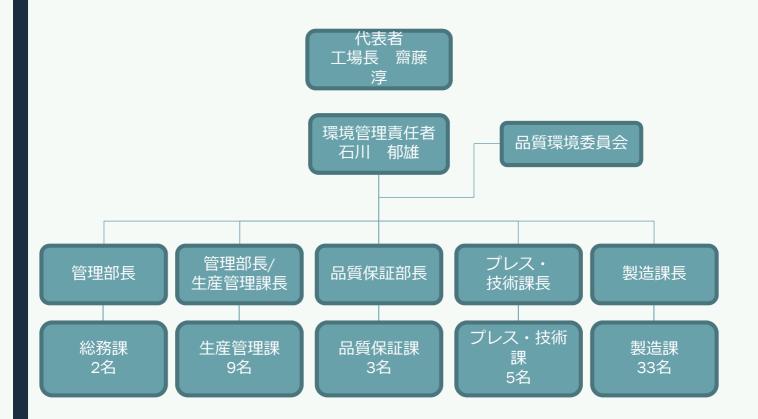
2023年度 岩手工場環境経営目標

- 1.温室効果ガス排出量削減(売上原単位) スコープ1.2 (自社事業活動、購入エネルギー)において、
- ・2013年度実績に対して、2030年度50%削減。
- ・2013年度実績に対して、2023年度33%削減。 (電力C02排出係数が2021年度と同等を前提)
- 2.廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量 (排出量、処分量は売上原単位)
- ・過去3年間平均値に対して1%削減。
- ・工程不良率の低減
- 3.環境及び労働安全上の緊急事態対応
- ・教育訓練の実施(年1回)
- 4.その他
- ・地域貢献;新型コロナ状況の悪化が無い事を前提に、年1回の再開を目指す
- ・水使用量の管理;節水励行とデータ監視.(対象は生活用水のみ)
- ・有害化学物質の周知。

制定 2007年7月1日 改定 2023年5月1日

野村産業株式会社 岩手工場 執行役員工場長 齋藤 淳

エコアクション21環境活動実施体制



■職務分掌

役割	担当者	職務(責任・権限)
代表者	工場長 齋藤 淳	①環境経営方針の制定。②環境管理責任者を任命する。③環境管理責任者からの報告を受け全体の見直 しをする。④取り組みに対する資源を用意する。
環境管理責任者	生産管理課 石川 郁雄	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
品質環境委員会	委員	環境活動計画における問題点の協議
部門責任者	各担当部課長	部門内において①省資源、省工ネ、節水を奨励・実施する②EA21の目標達成の取組を推進し、チェックをし、環境管理者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う③公害防止、緊急事態への予防措置を行う
3ミュニケーション窓口	環境管理責任者	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
社員	LD・係員	①部門責任者の下、省資源、省工ネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。③改善提案 を行なう。

環境経営計画

- ■温室効果ガス削減
- ・設備更新時はエコ型新設備の入れ替え
- ・エアコンの適切な温度管理
- ・休み時間の消灯、不要な照明はコマめに 消灯
- ・ 電源不要時の電源遮断
- ・エコ運転の励行
- ■廃棄物の削減
- ・分別による再資源化
- ・ 裏紙使用の推進
- ・紙・段ボールのリサイクルの推進

- ■水使用量の維持管理
- ・ 節水の徹底
- ■製品サービス
- ・丁程不良率の削減
- ■資質教育
- ・ 資質向 上の教育
- ■地域貢献
- ・ 丁場周辺歩道の清掃

取組内容



- ■グリーンカーテン施策
- ・夏場の節電対策として、建物の温 度上昇抑制、省エネのため、グ リーンカーテンの育成を今年初め て実施。
- ・工場の窓ガラスを隠すことはでき なかったが、建物に日影を作るこ とができた。
- 来年も実施予定。

■工場周辺の歩道清掃

・工場周辺の歩道のゴミ拾い、 草取りを実施し、地域貢献活

動実施。



◆2023年度設備導入



■NCタップ

- ・老朽化のNCタップを更新。
- ・生産性向上による省工ネ。

■追従機付きベンダー

- ・老朽化の追従機付きベンダー を更新。
- ・生産性・省エネ向上の他に、 安全性も向上。



■中型トラック

- ・3.5t⇒4 t トラックに更新
- ・ワイドタイプで、輸送量が 増加。
- ・今後データ採取し、燃費向 上にも期待。

◇緊急事態の対応及び訓練状況



■消火器訓練

・今年度入社した社員+安全衛生委員で訓練実施。

■廃油漏洩対応訓練

- ・地震により、廃油のドラム 缶が転倒し、何らかの原因 で廃油が漏洩した場合を想 定し、訓練。
- ・土嚢による廃油の塞き止め とオイルシートで廃油回収 の訓練実施。



■避難訓練

- ・地震発生を想定し、避難訓練。
- ・落下物等から頭を守り、避難を実施。

環境経営目標の実績

2023年度実績						
		基準年度		2023年		
		2013	目標	実績	達成率 %増減	評価
温室効果ガス 排出量	K g -Co²/百万円 (売上げ高原単位)	926	620	493.80	120.36	0
廃棄物排出量	K g -Co ² /百万円 (売上げ高原単位)	9.83	9.63	8.58	124.0	0
水使用量	90L/人・日	データ 管理	継続	継続	データ 管理良好	0
製品サービス	%		2022年に対 し10%削減	2022年に対 し56%増	26.91	×
資質教育		1	1	1	良好	0
地域貢献		1	1	1	良好	0

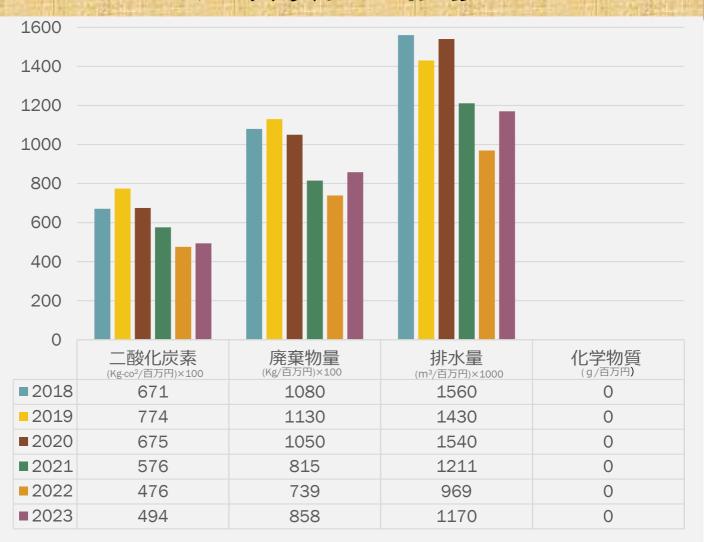
※電力の排出係数は、大熊るるるん電力2023年度実排出係数0.429kg-C02/kWh 評価:○達成 ×未達成

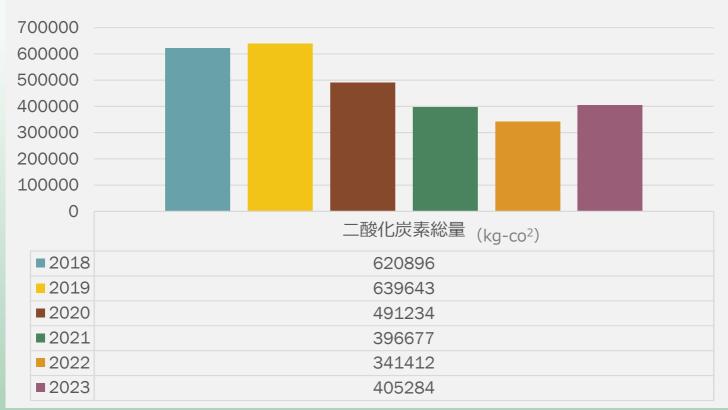
実績評価と次年度の取り組み

- ■温室効果ガス削減
- •目標達成。
- 近年の設備の更新などの効果が現れている。
- ・引き続き、温室効果ガス排出低減 に取り組んでいきます。
- ■廃棄物の削減
- ・目標達成。
- ・引き続き、分別を行い再資源化と 紙・段ボールのリサイクルを行い ます。
- ■水使用量の維持管理
- ・維持管理良好。
- ・節水の意識が定着しており、安定 した使用量となっています。
- 数年前には、データ異常により漏水の発見も出来ています。
- 継続して、データ管理を行います。

- ■製品サービス
- ・目標達成ならず。
- ・不良率の高いロットが複数件発生し、 目標値の1.73倍の不良が発生した。
- ・次年度は不良率の高いロットを減ら し、2022年度の品質レベル回復を目 指します。
- ■資質教育
- 目標達成。
- ・継続して資質教育を行います。
- ■地域貢献
- ・目標達成。
- ・今後も工場周辺の美化活動を積極的 に行います。

必須項目の推移





次年度の環境経営目標

1.温室効果ガス排出量削減 (売上原単位)

スコープ1,2(自社事業活動、購入エネルギー)において、

- ・2013年度実績に対して、2030年度50%削減。
- ・2013年度実績に対して、2024年度36%削減。 (電力C02排出係数が2021年度と同等を前提)

2.廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量 (排出量、処分量は売上原単位)

- ・過去3年間平均値に対して1%削減。
- ・工程不良率の低減。2022年度実績への回復。

3.環境及び労働安全上の緊急事態対応

・教育訓練の実施(年1回)

4.その他

- ・地域貢献:年1回。
- ・水使用量の管理;節水励行とデータ監視.(対象は生活用水のみ)
- ・有害化学物質の周知。化学物質管理責任者選任と 自律管理検討開始。

制定 2007年7月1日 改定 2024年5月1日

野村産業株式会社 岩手工場 執行役員工場長 齋藤 淳

中期目標							
		基準値	2022	2023	2024		
温室効果ガス 排出量	K g -Co ² /百万円 (売上げ高原単位)	926 (2013年度)	639	620	593		
廃棄物排出量	K g -Co ² /百万円 (売上げ高原単位)	9.83 (過去3年間平均)	9.73	9.63	9.53		
水使用量	90L/人・日	データ 管理	継続	継続	継続		
製品サービス	%	年間の結果をみて、 品質目標と連動	2022年は 市場不良率	2022年度の 10%削減	2022年度へ の実績回復		
資質教育		1	1	1	1		
地域貢献		1	1	1	1		

環境関連法規の順守状況

当社に適用となる主な環境関連法規制

適用される法規制	適用内容・概要	対象	遵守評価
廃棄物処理法	産業物廃棄管理表(マニュ フェスト)の交付と保管	産業廃棄物	0
公害防止組織法	公害防止管理者の届出	液圧ブレス、機械プレス、 せん断機、圧縮機	%1
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出	液圧ブレス、機械プレス、 せん断機、圧縮機	0
	規制基準の遵守	_,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
振動規制法	振動発生特定施設の届出	液圧ブレス、機械プレス、 圧縮機	0
	規制基準の遵守		
フロン排出抑制法	フロン漏洩防止・簡易点検の 実施	空調室外機、加工機チラー、 冷水器	0
下水道法	使用開始届出		0

関連機関より、法令違反の指摘はありません。

※1 公害防止統括者は登録変更済み・公害防止管理者は外部委託中

訴訟等の有無

関連機関及び住民 からの苦情・訴訟は ありませんでした

	苦情	賃受付けと	措置	結果			工場長	環査	担当部門	作成
受付年月日		発生元	区分		地域 行政	t	1			
T	氏名	住	9f							
発生元	電話	FAX				>	(-Jb			
受付者 役職氏名		転送川	5							
苦情内容										
一次解答内環境管理者	任者見解									
処理・措置	が必要な場合	合の処理・措置で	容と	結果						
		合の処理・措置で		結果						
	結果に対する			結果						
如平等	結果に対する ・ 応			結果						

代表者による全体の評価と見直しの結果

見直し項目	評価	見直し指示
1.環境方針	エコアクション21,2017 年版要求事項に沿っており、適 正と考えます。	環境に対する顧客、行政、社会からの要請は強まっていますが、方針の変更を要するものではありません。
2.環境目標	環境方針、および工場経営課題 に沿ったものであり、目標は適 正だったと考えます。	中長期計画に沿った目標値の 見直し、また経営課題を整理 して2024年度に合った内容に 見直します。
3.環境活動計画及び環境経営システム	活動計画、システム共に2017 年版要求事項、審査内容の フィードバックが行われており、 良好と考えます。また活動実績 も目標、発生した事象に対して 適格に活動しています。	環境目標提示前ですが、活動計画について大きな変更は必要ないと考えています。環境目標提示後、内容・目標値に沿った計画作成をお願いします。システムの変更は必要ありません
4 実施体制	活動体制は特に問題無かったと 考えます。 法令対応として見直し指示参照 願います。	継続審査で課題となった公害 防止管理者不在(法令違反) は社内育成が困難な為、行政 との相談に基づき、5月より外 部委託を行います。組織体制 に追記要です。
5 その他	労働安全衛生法により2024/4 より、化学物質管理者の選任が 必要となります。	IS09001マネジメントレビューに基づき、2名の講習受講、 うち1名の選任を検討しています。
6 全体評価	活動は良好ですが、前回の評価見なかった点は私の反省点です。書 ざいます。法令について必要な対	弐の見直し実施、ありがとうご